

平成27年度 東毛地区小学校体育科授業研究会 レポート

- 日時：12月4日（金）
- 会場：邑楽町立長柄小学校
- 单元名：ボール運動（タグラグビー）
- 指導者：松島 博昭 教諭

今年度の東毛地区の授業研究会は、邑楽町立長柄小学校の松島先生が授業を提供してくださいました。今回取り上げて下さったタグラグビーは、馴染みがない種目かと思いますが、子どもたちが生き生きと活動できる種目です。そんな授業を提供して下さい、たいへん勉強になった研究会となりました。



タグラグビーの運動に合わせた準備運動の円陣パス。チームごとに声を掛け合いながらパスを回していました。



タグ取り鬼ごっこ。タグを取りながら、タグを取られないように逃げる運動。短時間ですが、かなりの運動量でした。



1対1のタスク練習。カットインやスワープなどの動きで、ディフェンスを抜いていました。



2対2のタスク練習。クロス攻撃などが見られ、ディフェンスを惑わす動きの工夫が見られました。



チームの課題と作戦を話し合う様子。ホワイトボードなどを使って、自分達の特徴を生かした作戦を練っていました。



3対3のゲーム。チームの作戦を生かした動きが見られました。セルフジャッジで互いを認め合いながらのゲームでした。



試合に出ないチームは、ボールに触れた数やトライ数を記録していました。次の試合の話し合いに活用できるよう、サポートしていました。



授業最後の振り返り。「作戦がうまくいったよかった。」や「負けてしまったけど、次は作戦を成功させたい。」などの前向きな発言が多かったです。

児童が積極的に動いて、流れがスムーズな授業でした。なにより児童がチームメイトや対戦相手に「ドンマイ!」や「ナイスプレー!」などの励ましの声が多く聞かれました。ゲームの時も整列して、大きな声であいさつをするなど、参観していてとても気持ちの良い授業でした。



授業研究会では、先生方が6班に分かれて班別協議を行いました。授業観察チェックリストをもとに、6つの観点から話し合いを深めました。協議後に班の代表者が話し合った内容を発表し、全体で共有することができました。



班別協議の様子。授業者の松島先生が各班を回りながら参観者の質問に丁寧に答えてくれました。



班の代表者の発表の様子。参観者からの良かった点や改善点等が発表され、先生方の熱意が伝わる発表でした。

指導講評では、東部教育事務所の藤倉指導主事より、「単元構想シートの活用」や「児童の実態にあった独自のルールづくり」などの実践に向けたご指導を頂きました。また、「体育の授業においても考えることの習慣化」や「中学校への系統性をもった授業づくり」が大切であるのご指導も頂きました。

この度の公開授業及び研究会は、よりよい体育授業の実践につながる貴重な機会となりました。授業を提供して下さった松島先生をはじめ、研究会開催にご尽力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責：大泉町立南小学校 井上秀樹)